

公開講座

# アメリカで観察映画

## 6/20 wed 開催!!

### 『ザ・ビッグハウス』は、いかにして作られたのか。

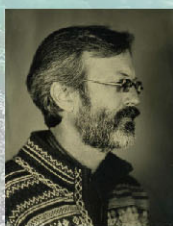
劇場公開完成版よりも6分長いオルタナティブ・エンディング版(125分)を上映し、**想田和弘**監督と**マーク・ノーネス**監督(ミシガン大学教授/日本映画研究者)が、企画・撮影・編集まで、すべてのプロセスを徹底解剖。名門ミシガン大学の驚きの映画教育プログラムとは? 総勢17名の映画作家による協働から考える、映画制作における民主制とは? 激論を経て、最終的には投票で「カット」が決定されたエンディングとは? 来場者を変えて、ディスカッションを行います。



#### 想田和弘

東京大学文学部卒。スクール・オブ・ビジュアル・アーツ卒。93年からニューヨーク在住。映画作家。台本やナレーション、BGM等を排した、自ら「観察映画」と呼ぶドキュメンタリーの方法を提唱・実践。

監督作品に『選挙』(07)、『精神』(08)、『Peace』(10)、『演劇1』(12)、『演劇2』(12)、『選挙2』(13)、『牡蠣工場』(15)、『港町』(18)があり、国際映画祭などでの受賞多数。本作『ザ・ビッグハウス』制作の舞台裏を記録した単行本「THE BIG HOUSE アメリカを撮る」(岩波書店)が5月30日刊行。



#### マーク・ノーネス

ミシガン大学映像芸術文化学部・アジア言語文化学部教授。専門はアジア映画、日本映画、ドキュメンタリー、翻訳論など。山形国際ドキュメンタリー映画祭をはじめ、多くの国際映画祭のプログラミングを手がける。主な著書に「Forest of Pressure: Ogawa Shinsuke and Postwar Japanese Documentary (圧殺の森: 小川紳介と戦後日本のドキュメンタリー映画)」(06)、「日本映画研究へのガイドブック」(09/増補版16)など多数。『ザ・ビッグハウス』は初監督作品である。

●開催日: 2018年6月20日(水) ●会場: シアター・イメージフォーラム

19:00 参考上映『ザ・ビッグハウス』オルタナティブ・エンディング版(125分)

※予告編上映なし/本編からスタート

21:15 公開講座: アメリカで観察映画(22:30 終了予定)

●参加費: 一律2,500円(税込)

※『ザ・ビッグハウス』半券をお持ちの方は200円割引

※6/17(日)午前0時より、劇場WEBサイトからオンライン購入可能

※同日18:30からの「劇場公開完成版」上映は休映となります

【シアター】  
**イメージフォーラム**  
【全席指定/入れ替え制】  
JR 渋谷駅 徒歩8分、宮益坂上り、次の信号を右手入る  
Tel.03-5766-0114 [www.imageforum.co.jp](http://www.imageforum.co.jp)